

恵庭ふるさと公園再整備基本計画（概要版）



平成 30 年 6 月

恵 庭 市

1 恵庭ふるさと公園基本計画について

1-1 背景と目的

恵庭中心市街地に位置する「恵庭ふるさと公園」は、地区公園として災害時の避難空間の形成や防災性の向上、レクリエーションや自然とのふれあいの場の創出、潤いのある都市景観の形成など多様な機能や役割を担っており、市民に長く親しまれてきました。

一方、1992年（平成4年）の供用開始から25年が経過し、施設が老朽化したことに加え、樹木が大きく成長したことによる数々の問題が指摘され、さらに周辺環境や社会状況の変化により、地元住民や利用者が公園に求める機能や内容も大きく変化してきました。

今後は、開設当初から年月を経たことによる落ち着いた公園の良さを活かしつつ、さらに利用者がレクリエーションやみどりとのふれあいの場、様々な市民活動の場として新たな公園像を検討することが必要となっています。

また、関連計画として恵庭市では、平成29年に「恵庭市公共施設花づくり基本指針整備・運営計画」を策定し、本公園も同指針における花の観光拠点の1つとして位置付けられました。

さらには、北海道が進める札幌恵庭自転車道の延伸計画（注1）により、今後は今以上に多様な機能や役割が求められます。

このような背景を踏まえ、地域の緑のシンボルである恵庭ふるさと公園の魅力再認識し、安全で快適な公園環境整備と改善、また豊かで潤いのある生活と都市環境の形成を図ることを目的として、市民参加によるワークショップで再整備に向けた基本方針や、今後の管理・運営について話し合いを進め、恵庭ふるさと公園の基本計画を策定しました。

注1 札幌恵庭自転車道延伸計画

道道江別恵庭線島松川橋梁付近を起点とし、JR 恵庭駅を終点とする計画です。具体的な延伸ルートは未定ですが、恵庭ふるさと公園の敷地北側の一部を通りながら、市道黄金学園通の車道部を利用するルートが検討されています。

恵庭ふるさと公園基本計画の策定フロー

市民参加によるワークショップの開催

第1回WS

- ・ 事業概要、WS目的の把握
- ・ 現状の問題点や課題の共有（現地フィールドワーク）

第2回WS

- ・ 再整備、利活用におけるキーワードの共有
- ・ ゾーン毎のイメージの共有

第3回WS

- ・ 再整備、利活用における具体内容の掘下げ
- ・ ゾーン毎の規模、導入施設イメージの共有

第4回WS

- ・ 再整備における基本方針と計画案の共有
- ・ 市民協働型の管理・運営について検討

恵庭ふるさと公園基本計画の策定

- ・ 基本方針の設定、整備方針の設定
- ・ 利活用方法の整理
- ・ 市民協働による管理・運営の検討



目次

1	恵庭ふるさと公園基本計画について	1
1-1	背景と目的	1
2	恵庭ふるさと公園の概況	2
2-1	恵庭ふるさと公園の沿革	2
2-2	恵庭ふるさと公園の現況	2
3	基本計画	3
3-1	基本理念と基本方針	3
3-2	整備方針の設定	3
3-3	施設計画と利活用方法	5
4	今後に向けた課題	6
4-1	管理運営計画	6
4-2	Park-PFI への取組み	6
5	事業計画	7



2 恵庭ふるさと公園の概況

2-1 恵庭ふるさと公園の沿革

恵庭ふるさと公園は、黄金土地区画整理事業により周辺の住環境が整備される中で、漁墓地が平成3年3月に西島松地区へ移転し、その跡地に新たな公園として整備されました。

恵庭ふるさと公園は、昭和62年3月に「黄金中央公園」の名称で都市計画決定されましたが、その後昭和63年から平成3年度にわたり総事業費約8億6千万円をかけた整備事業が実施され、平成4年6月1日に現在の名称「恵庭ふるさと公園」としてオープンしました。

面積は供用開始時は4.6haでしたが、平成12年・平成25年に道路計画の変更に伴い公園区域変更が行われ、現在の都市計画決定面積は4.0haとなっています。

2-2 恵庭ふるさと公園の現況

○ 施設

公園内の施設の現状は、老朽化や破損等で稼働していない施設や利用者のニーズに合わなくなった施設が見られる一方、散策や運動、自然をいかした遊びなどで多くの来園者に親しまれています。



○ 樹木・草本

公園内には元々自生していたカシワを始め、風格のある豊かな緑地を形成しており、中高木の種類は48種にもものぼり、1,200本を超えています。

広葉樹で最も本数が多いのはカシワで、中高木全体の約3割を占めています。次いでエゾヤマザクラですが、ミズキ、コブシ、モミジ等花や紅葉を楽しめる樹木も多く植栽されています。針葉樹はオンコ・アカエゾマツ他が植えられおり、積雪期には公園の美しい景観を造ります。低木についても、26種、1,100本を超える多様な樹木が園内に彩りを添えています。

また敷地北側のカシワ林の林床は、落葉飛散防止のグリーンネットの敷設で、来園者が足を踏み入れることのないフキの目立つ一面となっていますが、春先にはフクジュソウやニリンソウ、夏にはオオウバユリなどの野草が観察されています。適切な草刈りなどの手を入れることで、このほかの野草の出現・生育も見込まれます。



カシワ



フクジュソウ



ニリンソウ



オオウバユリ

このように公園内では多くの樹木や草本が生育していますが、樹木が大きく生い茂る箇所が多いため、見通しの悪さや公園全体が薄暗く感じられるなど、懸念する声も挙げられています。



恵庭ふるさと公園の航空写真と既存樹木植生図

3 基本計画

3-1 基本理念と基本方針

本公園は、みどり豊かな自然環境の下、自然観察や健康増進を目的とした散策、またプレーパーク（冒険遊び場）やハーブ園を利用した自主活動も多く行われています。

一方、施設の老朽化や破損による利便性の低下、生い茂った樹木などによる防犯上の課題もあります。

今後、再整備を進めるにあたり、地域の緑のシンボルである本公園の魅力を再認識し、安全で快適な公園環境の改善、また豊かで潤いのある生活と都市環境の形成を図るべく、以下のような基本理念と基本方針を設定します。

Basic principle—基本理念

～地域コミュニティをつなぎ
次世代に引き継ぐふるさと公園～

Basic policy—基本方針

“らしさ” が感じられるみどりと花の景観づくり

- ・ 地域のシンボルである良好な緑を活かした、新たなみどりと花の景観づくりを進め、他の花の拠点との差別化を図ります。
- ・ 花苗の生育や地域住民による植栽など、地域が中心となった“花育”の取組みを進めます。

新たな地域のにぎわい拠点（顔づくり）の創出

- ・ 様々な地域活動を促す空間を確保し、利用者の価値観や思いを共有する交流の場を創出します。
- ・ 誰もが立ち寄りやすい明るく開放的な空間とし、潜在的ニーズへの対応と地域コミュニティの活性化を進めます。

地域参加型による持続可能な管理・運営

- ・ 地域住民や商店街、また市民活動団体などが公園の運営管理の一部に携わることのできる仕組みづくりを進めます。

3-2 整備方針の設定

基本方針を具体化するための整備方針を以下のように設定しました。

整備方針

立ち寄りやすい明るく開放的な出入口

- ・ メインアプローチとなる黄金学園通に面する部分は、歩道と一体となった広場として整備を行い、気軽に立ち寄れる空間とします。
- ・ 地域が主体となった花育を進め、新たなにぎわいと地域コミュニティを促します。

多様な地域活動を促す木立と芝生の広場

- ・ 四季を通して、様々な地域活動や自主活動を行うことのできる芝生の広場を整備します。
- ・ フレキシブルな利用を考慮し、広場周辺には出来るだけ作工物は整備しません。

良好な自然環境の創出と緑のリサイクル

- ・ カシワ林が生育している部分については、適度な間引きを進め、草本の回復を図るとともに、シェードガーデン（注2）が楽しめる空間とします。
- ・ 緑のリサイクルの視点に立ち、一部堆肥場などのバックヤードを確保します

サービス施設の整備による利便性の向上

- ・ Park-PFI（注3）により、公園の魅力向上、持続的な施設整備・更新を目的として、民間資金による便益施設（カフェ等の収益施設、駐車場やトイレ）の建設スペースを確保します。

注2 シェードガーデン

樹木や建物などによって半日陰～日陰になる部分に有る程度耐陰性のある植物を植えた庭



注3 Park-PFI（公募設置管理制度）

飲食店、売店等の公園利用者の利便の向上に資する公募対象公園施設の設置と、当該施設から生じる収益を活用してその周辺の園路、広場等の一般の公園利用者が利用できる特定公園施設の整備・改修等を一体的に行う者を、公募により選定する制度であり、都市公園に民間の優良な投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上、公園利用者の利便の向上を図る整備・管理手法。

整備方針に反映



3-3 施設計画及び利活用方法

○ メインアプローチ広場

隣接する黄金学園通と一体となった広場として整備します。今まで素通りすることの多かった北海道文教大学学生の通学時の休憩やサークル活動の場、また近隣住民の散歩やウォーキング時の立寄り休憩など、幅広い潜在的ニーズに対応することで新たなコミュニティ形成を期待します。また、ユニバーサルデザインに対応した花壇等の整備と花育（注4）による植樹活動を進め、公園の顔となるにぎわいや華やかさを演出します。

項目	内容
施設計画	屋根付休憩施設、ベンチ、ブロック舗装 ユニバーサルデザインに対応した花壇
利活用方法	通勤・通学時の立寄り休憩、地域催し時の運営本部 花育による植樹体験



歩道と一体となった広場のイメージ



花育による植樹体験のイメージ

注4 花育

花を教材に生命や個性について、子供などに考えてもらう活動を指し、「食育」、「木育」に続く、教育的な要素を盛り込んでいます。

○ 木立と芝生の広場

地域町内会や商店街などの催しや、プレーパークやデイキャンプなどの自主活動など、様々な地域活動の場として利用できる芝生の広場を整備します。

混みあった既存樹木は、伐採しますが、巨木や大木などはランドマークとして残し、木陰のある広場とします。

項目	内容
施設計画	ベンチ、照明灯
利活用方法	デイキャンプ、プレーパーク 町内会・商店街の各催し イグルー体験、健康増進活動（青空ヨガなど）



木立と芝生の広場のイメージ



イグルー体験のイメージ



プレーパークのイメージ



デイキャンプのイメージ

○ 林床の植物を楽しむ散策路

既存のカシワ林を林床に光が差し込む程度整理し、草本やシェードガーデンを楽しめる散策路を整備します。また、緑のリサイクルの視点に立ち、一部分に堆肥場（バックヤード）を確保します。

項目	内容
施設計画	散策路、ベンチ、堆肥場（バックヤード）
利活用方法	野鳥・自然観察、散策、環境学習



林床の植物を楽しむ散策路のイメージ



自然観察のイメージ



植物を題材にした環境学習のイメージ

4 今後に向けた課題

4-1 管理運営計画

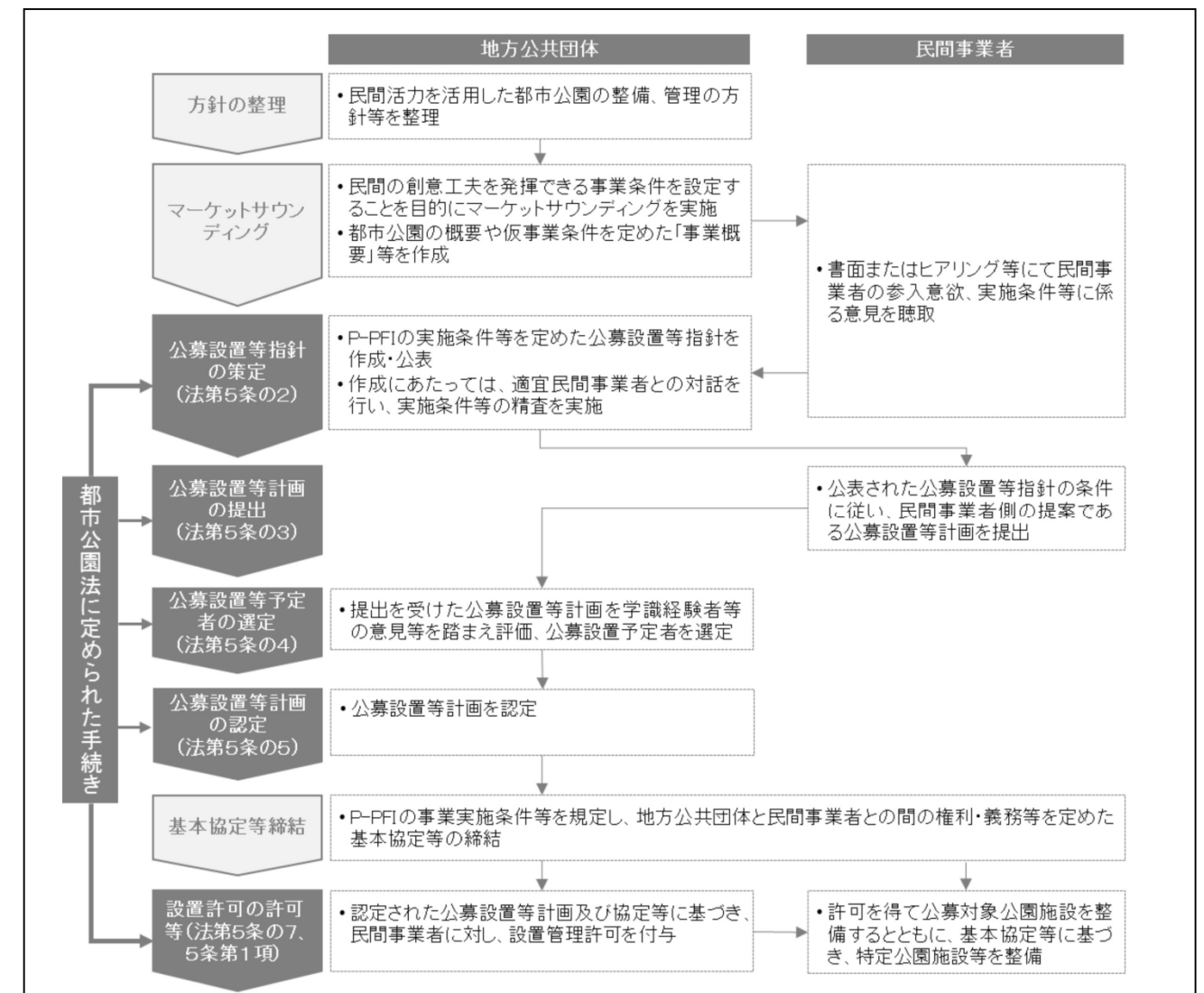
本公園の管理運営は、指定管理者（恵庭まちづくり協同組合）が行っています。現状においても指定管理者と本公園を活動拠点として自主活動を行っている団体とは、活発な情報交換が行われており利活用においても連携した活動プログラムを開催するなど一定の成果を挙げています。

今後は、平成30年度に予定するワークショップなどを通して、地域住民や活動団体が持続的に管理運営に携われる方策を検討するとともに、指定管理者と連携した組織づくりの取り組みを進めていきます。

4-2 Park-PFI への取組み

本公園が、今後も継続的に魅力のある公園としてあり続けるために、Park-PFI 制度を導入し、飲食店舗などを含めた質の高いサービスを提供する「交流拠点施設」の設置、企業や地域住民によるイベントや催しの促進が望ましいと考えます。

今後は、民間事業者の参入に向けてマーケットサウンディングを進めるとともに、公園の魅力向上の可能性を検討します。




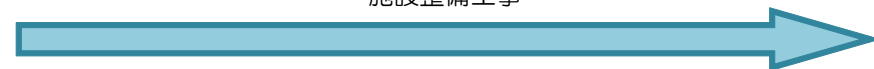


Park-PFI の事業者公募、選定手続きの流れ

5 事業計画

平成 30 年度は実施設計及び現況測量調査を実施し、平成 31 年度に整備工事に着手し、平成 32 年度の供用開始を目標に進めます。

また、地域参加型による管理運営についても、ワークショップなどを通して、平成 30 年度より体制づくり（組織づくり）の構築に取り組んでいきます。

項目 \ 年度		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
恵庭ふるさと公園	基本計画	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針の設定 施設計画の設定 基本計画図の作成 ワークショップ（4回）開催 				
	現況測量 実施設計		<ul style="list-style-type: none"> 現況測量調査 実施設計図作成 工事費算出 ワークショップ（2回）開催 			
	工事			<ul style="list-style-type: none"> 施設整備工事 		
	地域参加型による 管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 可能性と課題の抽出 町内会による冬フェスの開催 	体制づくり（組織づくり） <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連携した地域活動団体の組織化準備期間 様々な活動プログラムの実践と検証、課題と可能性の整理 		体制づくり（組織づくり） <ul style="list-style-type: none"> 公募設置等予定者と連携した地域活動団体の組織化準備期間 様々な活動プログラムの実践と検証、課題と可能性の整理 	
	Park-PFI		<ul style="list-style-type: none"> マーケットサウンディング 公募設置等指針の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 公募設置等予定者の選定 基本協定等締結 	<ul style="list-style-type: none"> 施設整備工事 	

事業スケジュール（案）